

2月 園だより

発行年月日

2025年1月31日

1月前半は凍てつくような寒さの中氷を見つけ、「作ってみよう」と冬ならではのあそびに夢中になりました。後半は気温が上がると園庭は、鬼ごっこの歓声、裸足で「泥んこ遊び」での笑顔が見られています。春はまだ少し先ですが子ども達の逞しさに心が温かくなります。年長児は竹馬・独楽への挑戦が始まりました。さて、それぞれのクラスも1年間の中で友達との関りも深まっていき、その中で一人一人が成長してきました。

先日は1歳児の子ども達が「鬼」になりきって先頭を歩く先生の真似っこをして練り歩いているかわいい行列がありました。ごっこ遊びの世界は0歳児の遊びから繋がっています。年中・年長さんは2月クラス皆で自分たちの決めたお話の世界で「劇づくり」を楽しみます。友達の意見も聞き自分の意見も言えるコミュニケーションの力はこの1年間の仲間関係の中で出来ていきます。さらに深まります。

2月の行事予定表

- 1日(土) 職員園内研修
- 3日(火) 節分の集い
- 4日(水) 未満児芸術鑑賞『おとのわ』
- 7日(金) 未満児成長を喜ぶ会
- 21日(金) 年中劇の会・懇談会
- 25日(火) 親子絵本貸し出し
- 28日(金) 年長劇の会・懇談会

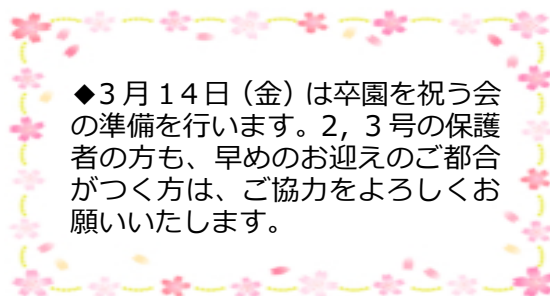
3月の行事予定表

- 1日(土) おひさまネット研修会
- 4日(火) あひる組保育参観・懇談会
- 5日(水) ぺんぎん組保育参観・懇談会
- 7日(金) 入園準備説明会
- 10日(月) 年少園外(二の丸公園)
- 11日(火) お別れ遠足(対象:3歳以上児のみ)
- 14日(金) 1号児(13時降園)
- 15日(土) 卒園を祝う会
- 18日(火) 卒園活動(年長のみ)
- 21日(金) 教育時間終了(13時降園)
- 22日(土) 全体職員会議・新年度準備
- 24日(月) ~ 春季保育始まり



(消費者庁より)

節分の豆等食品による子どもの窒息事故の予防に向けての注意喚起が
あっています。ほくぶ幼稚園でも鬼
に投げる豆は数年前より、新聞紙等
で作製したものを使用し給食で柔
らかく煮た大豆を食して昔からの
「節分の行事」に触れていきたいと
思います。



◆3月14日(金)は卒園を祝う会
の準備を行います。2,3号の保護
者の方も、早めのお迎えのご都合
がつく方は、ご協力をよろしくお
願いいたします。

<新年度用品について> ~事務局より~

○現未満児さんの用品注文については、後日コドモンにてお知らせ致します。

○新年中・年長さんの新年度用品は、下記の通りです。

◆新年長、新年中

・お便りシール帳……………	630円
・粘土(毎年購入)……………	540円
・お誕生ブック……………	440円
合計	1,610円



ママらんらん

手作り用品販売

3月12日(水)

14:00~15:30

ランチョンマットやバックなど、
幼稚園で販売します。

◆新年少

体操服(帽子)の見本をお部屋に置いておりますので、事前にご試着ください。
(返品、交換はご遠慮いただいておりますので、よろしくお願い致します。)

◆新2歳児

新年度の購入物はございません。

◆新1歳児

紫外線除けカラー帽子の購入のみとなります。(帽子見本ございます)



※代金の納入については新年度にお知らせ致します。

※新年度分より値上がりする用品がございます。紛失・破損等で購入を希望される方は、
2月末までにご注文ください。(事務局小材まで)



1月14日 3歳以上児観劇会!! カッパの雨乞い

ネズミの相撲のこけ方や行司やお相撲までの流れや、
いたずらばかりのカッパがみんなのために役に立ちたいという
気持ちに変わっていく様子など、とても分かりやすく
演じていらっしゃいました。なかなか見ることが少なくなった
「日本むかしばなし」に子どもたちを引き込み、子どもたちは釘付けでした。



みんなで 遊みましょう。お待ちしております♪



3月1日<<土>> 9:30~11:00 幼稚園ホール・園庭

講師:熊本学園大学 社会福祉学部 二子石 諒太先生 です。【幼稚園の保護者さんです。】

お母さんも沢山の参加をお待ちしています。親子で一緒に遊べる時間になります。

お母さんと子どもさんだけの参加も大丈夫ですよ。

以上児～劇について～

●年長さんはクラス皆で作りに上げていく「劇づくり」に取り組みます。観に来ていただく観客を意識して取り組める年齢になります。「こうしたら もっと かつこよく見える。」「面白く見える」というのが理解できて皆で考えあいながら劇が出来上がります。クラスの一人一人が活かされ皆で力を合わせられる取り組みを行いますので、配役やセリフ・動き等も子ども達と話し合いながら作っていきます。

●年中さんは完全な「劇づくり」まではまだ難しい年齢ですが、「あそび」を取り入れながらの劇づくりに取り組んでいきます。友達と一緒に劇について話し合いながら、楽しんでいくのがとても楽しい年中さんです。年長さん同様に配役やセリフも子どもたちと話し合いながら作っていきます。

●年少さんは ごっこ遊びで 絵本の物語の世界を友達と一緒に楽しめます。クラスでは十分に楽しめますが、年中・年長さんのような「参観の日」は設けません。まだ「観客」を意識して演じる発達年齢にはなっておりませんので、ほくぶ幼稚園では 4 年前から劇の取り組みの参観ではなく、成長を共有していただく日を別途 3月に保育参観として設けています。ご理解下さいますようよろしくお願いいたします。

絵本の世界を遊び演じる原点は、0歳児から育まれます

子ども達にとっての日々の生活はあそびであり、0歳期からの大人の応答的な関わりから模倣が芽生え、子ども同士の関わりをそっと見守ったり仲介に入ったりしながら、遊びや表現が豊かに広がります。先生たちの記録を紹介します。



絵本にリンゴが出てくると、必ず「ばく」と食べる真似。「おいしいね」と良い笑顔。



「お店屋さんかな？いらっしやい！」と声を掛けると、コップを並べてにこっと微笑む。

空っぽのコップを持ってきて、「カンパニー！」飲んだ真似も上手♪



室内ままごと遊びで、（いらっしやいませ、なにがいいですか？）と保育者に聞いてきたAちゃん。→注文をきくと、ロッカーの棚に玩具を持って行って置き、「ぶーん」と呟いている。どうやらレンジで温めている様子。（家でもよくそのような事をするそうで、温めた牛乳も好み、いつぞやは4杯も飲んで、軟便になっていた。）



散歩先では、北駐車場と吉田さんの畑の境目にコンクリートの盛り上がっている部分があり、そこに座ると、バスごっこ、電車ごっこが始まる。保育者の歌に合わせて身体を揺らすのが楽しい。

泥あそびで泥だらけになった手を見てお化けに変身。「おばけだぞ〜!!!」

「あぶくたったがいい！」と歌い始める子ども達。「おばけの音」というと走って隠れ「ここにはいませ〜ん!」「あっちにいます。」と知恵を出し合う。いつのまにか、かくれんぼに変わってしまうのは1歳児の面白さ。

初めてわらべ歌遊びの「とうりゃんせ」をしたが曲調の雰囲気なのか、怖いという子数名。現実とあそびの世界にいる子ども達。



絵本「てぶくろ」の世界で、手袋を探しに出発。偶然竹炭を作っているおじいさんを見つけ「おじいさ〜ん。」と声をかける子どもたち。こそっと「てぶくろしてる！」と嬉しそうに保育者に言いにくる姿が面白い。

夕方の遊びの中で、球根を見つけた年少さんが「うんとこしょ」「どっこいしょ」と【おおきなかぶごっこ】がはじまった。

日々の畑活動も絵本やごっこ遊びを通して自由な劇あそび・劇にながっていきます。



ほくぶ幼稚園では、決められた通りに弾くのではなく、形にとらわれず、自由に音を楽しみます。

ウレタン積み木を出して「プール作りたい」「家作りたい」と造りたいものは頭に浮かんでいたが、どうつくればいいのか分からずに困っていたところ、「お城つくる〜！」と別の友だちが思いのままに造り始めると、一緒に造り始めて、1つの大きなお城ができていた。



季節の行事・日々の遊び・友だち同士や保育者との応答的な関わりが、表現の豊かさにつながります。



『うみやま合戦』を読んだ。魚がどんどん増えてくるとその魚について『タイ食べたことある』『ヒラメ知っているー』など自分の経験を話し出す。



十二支の話をしていると子ども達が「どうして最後にねこさんごめんなさいなの？」と声が上がっていたので今日は朝から十二支の絵本を読んだ。興味津々に最後まで絵本を聞くような姿があった。読み終わったころには「だからねこさんごめんなさいなんだ！」と納得！